



# 山形有機エレクトロニクスイノベーション戦略推進地域

産学官連携による有機エレクトロニクス技術の事業化～山形モデルの地域イノベーションシステムの構築～

## 総合調整機関

公益財団法人 山形県産業技術振興機構  
〒990-2473  
山形県山形市松栄二丁目2-1  
TEL023-647-3130

## 参画機関（太字はプログラム実施機関）

- 産…山形県中小企業団体中央会、公益財団法人山形県企業振興公社、**公益財団法人山形県産業技術振興機構**
- 学…**国立大学法人山形大学**
- 官…山形県、米沢市
- 金…株式会社山形銀行、株式会社荘内銀行、株式会社きらやか銀行



プロジェクトディレクター  
**島田 新一**

略歴：産学官連携有機エレクトロニクス事業化推進センター事業化推進部長  
(株)東芝総合研究所半導体技術研究所等の勤務を経て現職

「有機エレクトロニクスといえば山形」の実現のため、「スーパーイノベーターチーム」による実用化技術開発、「REMT」プログラムによる産業界への人材輩出、地域に根ざしたコーディネート活動の強化による「山形イノベーションネットワーク」の構築、最新施設・設備の地域企業等への共用化による企業への技術移転等に、産学官が連携して取り組む。

## 地域イノベーション戦略

「山形の強み」である有機EL照明をはじめとした有機エレクトロニクス（有機EL、有機太陽電池、有機トランジスタ）技術のさらなる発展と地域における産業化の促進に、産業界、大学、行政機関の力を結集して取り組むことにより、山形モデルの地域イノベーションシステムを確立し、本県に有機エレクトロニクス関連産業の集積を図り「有機エレクトロニクスといえば山形」の実現を目指す。

## 事業の内容

### 1. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積（実施機関：国立大学法人山形大学）

有機EL・有機トランジスタ・有機太陽電池・有機蓄電デバイス分野で実績のある卓越技術者（スーパーイノベーター）9名を招へいし、産学官の共同研究開発拠点として整備した「山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター（以下「イノベーションセンター」という。下図参照。）において実証研究に取り組んでいる。プロセスイノベーションの中核技術である印刷でのデバイス製造技術の実証研究・開発研究に企業の技術者とともに日本再生地域での産業集積化の実現に邁進している。

### 2. 地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施（実施機関：国立大学法人山形大学）

継続的なイノベーション活動により、有機エレクトロニクス産業集積化を実現するために、最も大切な高度人材（REMT）教育を実践する特別プログラムを実行する。担当者として、専門家、企業教育経験者、卓越研究者を配置して、より実践的な教育を行う。

### 3. 大学等の知のネットワークの構築（実施機関：公益財団法人山形県産業技術振興機構）

産学官金連携に取り組む「OLEDコーディネータ」を配置し、これまで開発された有機EL照明技術、イノベーションセンターでの有機エレクトロニクスに関する革新的技術の開発成果を生かした県内ものづくり企業を中心とする事業化、製品化（「メイドイン山形」）に向けた支援や県内外に対する情報発信、普及啓発等に取り組んでいる。

### 4. 地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化（実施機関：国立大学法人山形大学、公益財団法人山形県産業技術振興機構）

転写・フレキシブル・グラビアオフセット印刷装置、精密スリットダイコーター、露光機などのプリンティッドエレクトロニクス装置をはじめ、解析装置、評価装置などの先端機器類の共用化を支援する高度専門技術者を配置し、共用化を支援する体制をとっている。

